



「生きている地図」が行政を変える ～住民情報と毎日連携する会津若松市の統合GISが拓く、 EBPMと市民サービス～

令和7年11月28日

福島県会津若松市役所 企画政策部情報戦略課

庁内dX推進グループ 南波 美咲

星 泰斗

1





2

会津若松市のGISの特徴





会津若松市の住基空間情報とは？

本市GISの最大の特徴は、
住民基本台帳が
ポイント（点）化され、
日々更新されていることです。



住民基本台帳とは？

住民基本台帳は、

氏名、生年月日、性別、住所などが記載された

住民票を編成したもので、住民の方々に関する事務処理の基礎となるものです。

住民基本台帳の閲覧や住民票の写しの交付などにより、住民の方々の居住関係を公証するとともに、以下に掲げる事務処理のために利用されています。

- ◆ 選挙人名簿への登録
- ◆ 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、国民年金の被保険者の資格の確認
- ◆ 児童手当の受給資格の確認
- ◆ 学齢簿の作成
- ◆ 生活保護及び予防接種に関する事務
- ◆ 印鑑登録に関する事務



住民基本台帳とは？

住民基本台帳は、

氏名、生年月日、性別、住所などが記載された

住民票を編成したもので、住民の方々に関する事務処理の基礎となるものです。

住民基本台帳の閲覧は、**住所**などにより、住民の方々の居住関係事務処理のために利用

住所の見せ方を変えて
緯度・経度にしたもの
が住民ポイント

- ◆ 選挙人名簿への登録
- ◆ 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、国民年金の被保険者の資格の確認
- ◆ 児童手当の受給資格の確認
- ◆ 学齢簿の作成
- ◆ 生活保護及び予防接種に関する事務
- ◆ 印鑑登録に関する事務



住民基本台帳とは？

第1号様式(第2条関係)

住民票

福島県会津若松市									
氏名									
性別		生年月日		続柄		住民となった年月日			
世帯主									
住所					異動年月日		届出年月日		
前住所									
転出									
本籍							筆頭者		
備考								消除事由	

国民健康保険	記号番号	資格取得	資格喪失	事由
	備考			
退職保険	資格取得	資格喪失	区分	

後期高齢	被保険者番号	資格取得	資格喪失	事由

国民年金	資格取得	資格喪失	種別
	備考		

介護	資格取得	資格喪失	種別

選挙		
児童手当	支給開始	支給終了

年金受給者	記号	番号
		受



7

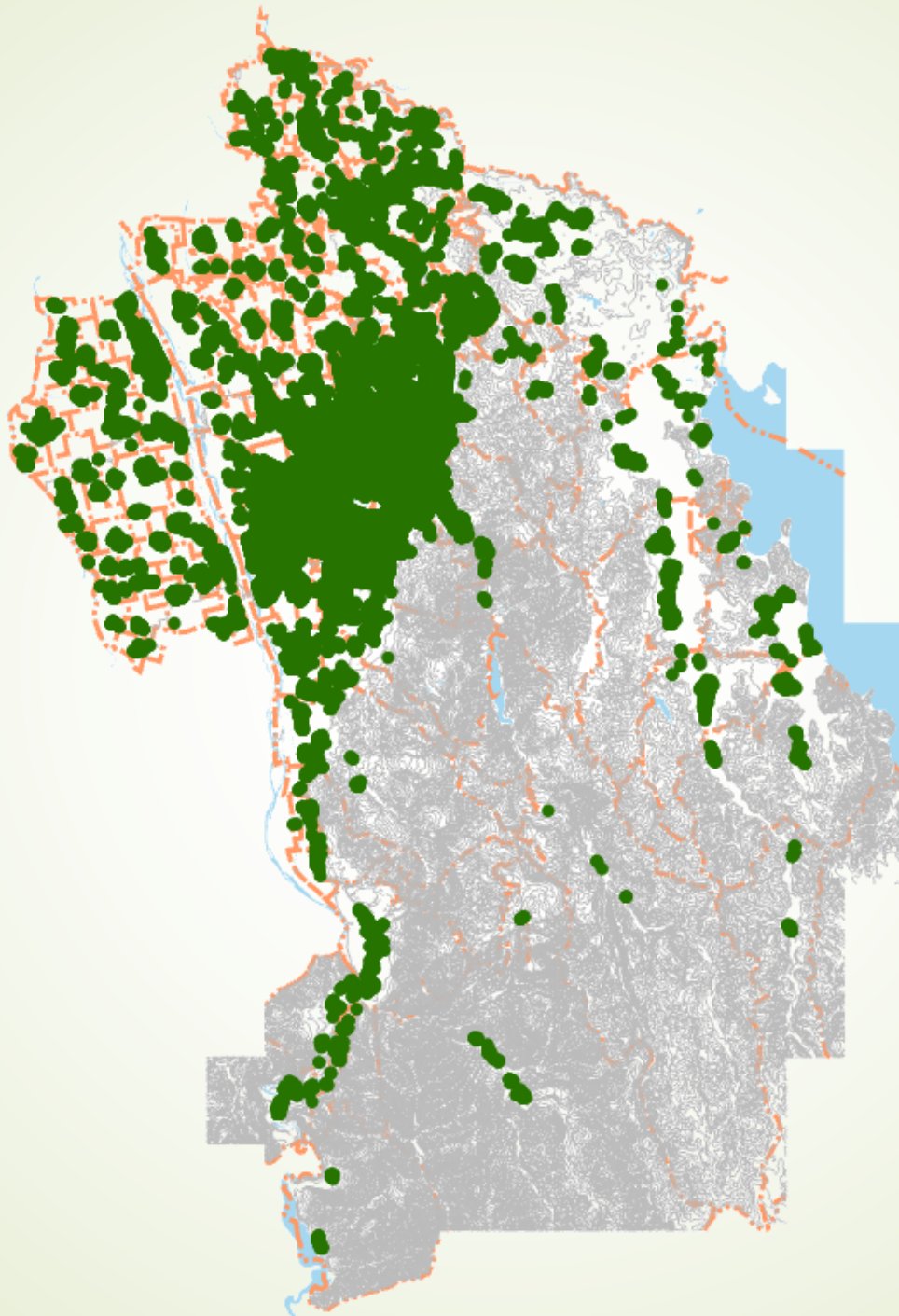
日々の更新作業の様子

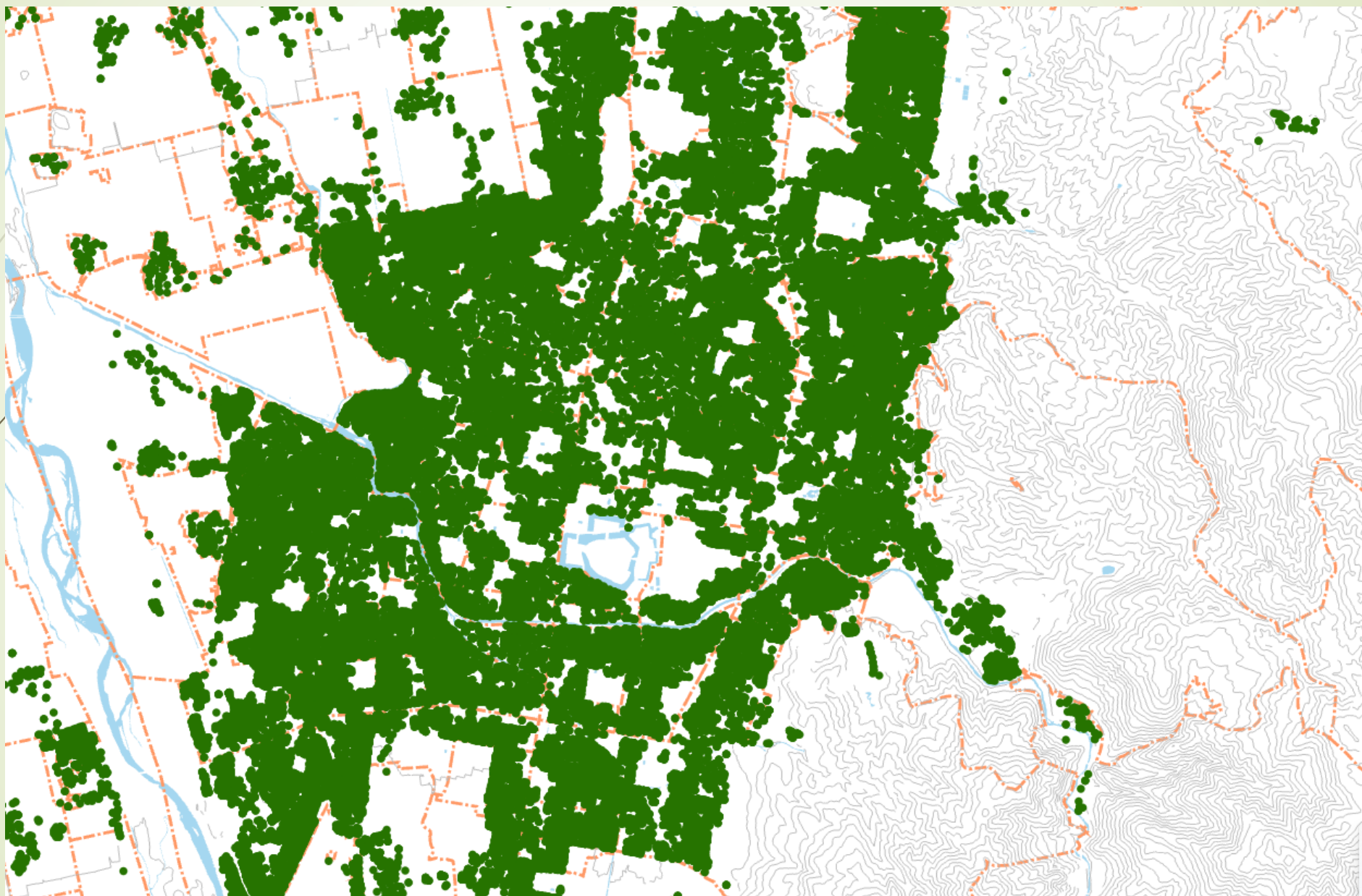


窓口で異動場所について聞き取り



毎夕方、住基データの更新をGISへ反映







10



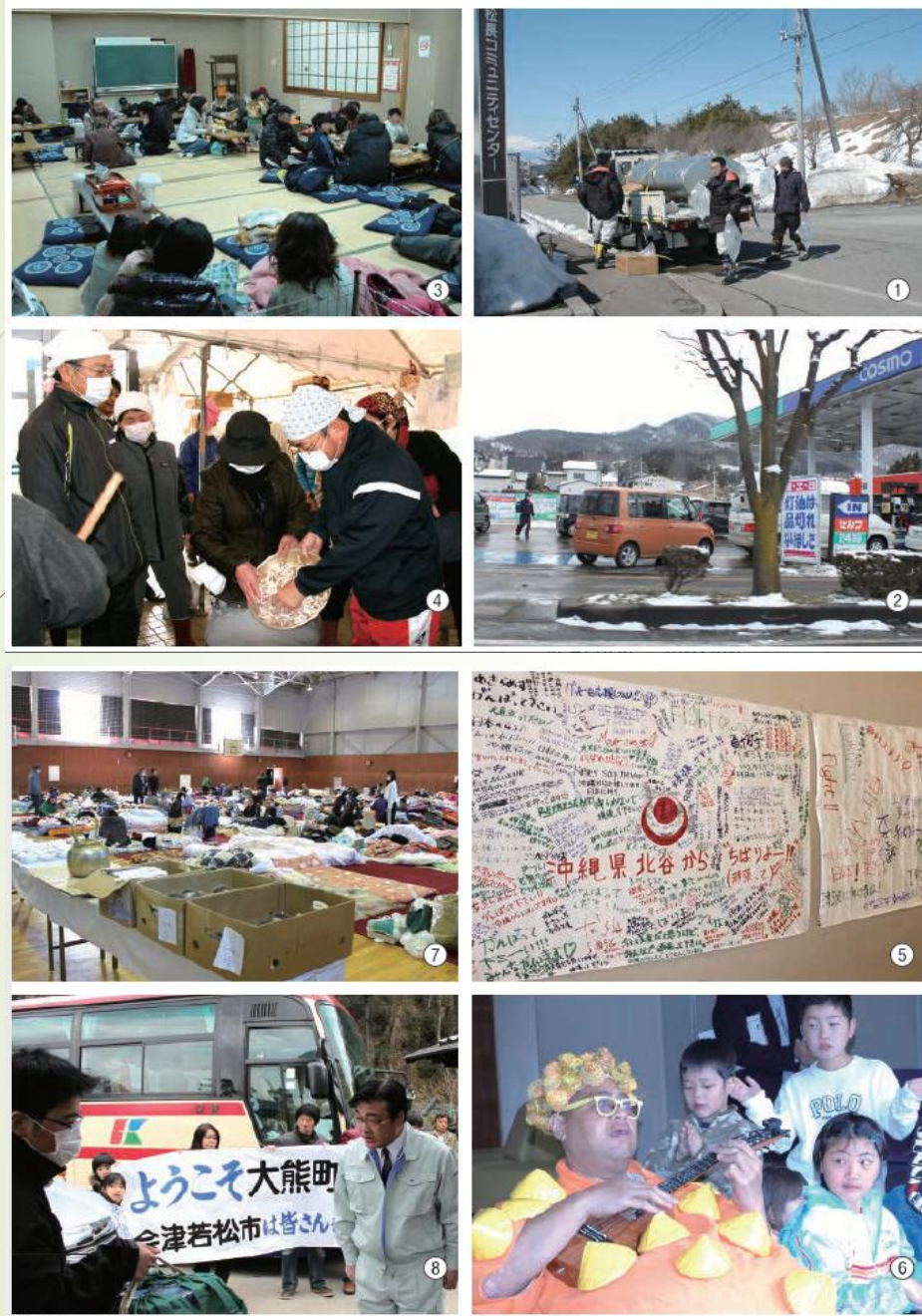




12

統合GIS導入背景





あいづわかまつ市政だより 令和3年3月号より

東日本大震災が発生

平成23年3月11日午後2時46分

あれから10年

鮮明によみがえる

決して忘れられない記憶

東日本大震災は、雪がちらついていたあの日の昼下がり突然起こりました。道路は波打ち、建物は大きく揺れ、みんなが必死に屋外へ避難しました。起きた出来事の大きさを受け入れられず、呆然と立ち尽くす人や、携帯電話が一時的に繋がらなくなり家族の安否を心配する人、寒さに震えながら余震におびえる人の姿で、まちはあふれていました。

あれから10年たった今でも、当時の様子は鮮明に思い出されます。写真は、被災直後の会津図書館。地震の大きさを物語っています。



統合GIS導入背景

- 東日本大震災や南会津の水害を教訓とした
 - 災害弱者といわれる「要援護者の支援体制構築」
- 災害に特化した情報システム
 - 平時における職員の訓練や運用体制が課題
- 平時にいかに便利に利用するかが重要
 - 職員が活用することによる「気づき」
- 統合GISの地図情報更新
 - 地図(データ)が更新されないと使わない

住民基本台帳と連動した統合GISの導入



統合GIS導入背景

- 平成23年6月30日 新潟で地方公共団体地域情報化推進フェア2011
住民情報（WideGV）とGIS（地図情報システム）を連携して視覚的に住民情報を把握の事例デモ
- 平成23年 8月25日 関係各課向けにデモを実施→市民課より通知
- 平成23年10月28日 第1回統合型GIS関係各課会議→市民課より提案
- 平成23年11月 1日 行政評価案件提出（企画副参事会議）
- 平成23年11月 1日 地方自治体情報化推進フェア2011へ情報収集
- 平成23年11月 2日 //
- 平成23年11月11日 第2回統合型GIS関係各課会議
- 平成23年11月18日 「汗動・協働・創造」枠 予算要求
「災害支援システム事業（統合型GIS（地図情報システム）構築）」二役へデモ
- 平成23年11月25日 統合GIS導入へ庁内情報化推進会議に提出
- 平成24年 1月23日 平成24年度当初予算市長説明

市民課より事業提案したが、予算つかず。。。



統合GIS導入背景

二役&職員に「統合GIS」導入の必要性



市民課→防災安全課主体に



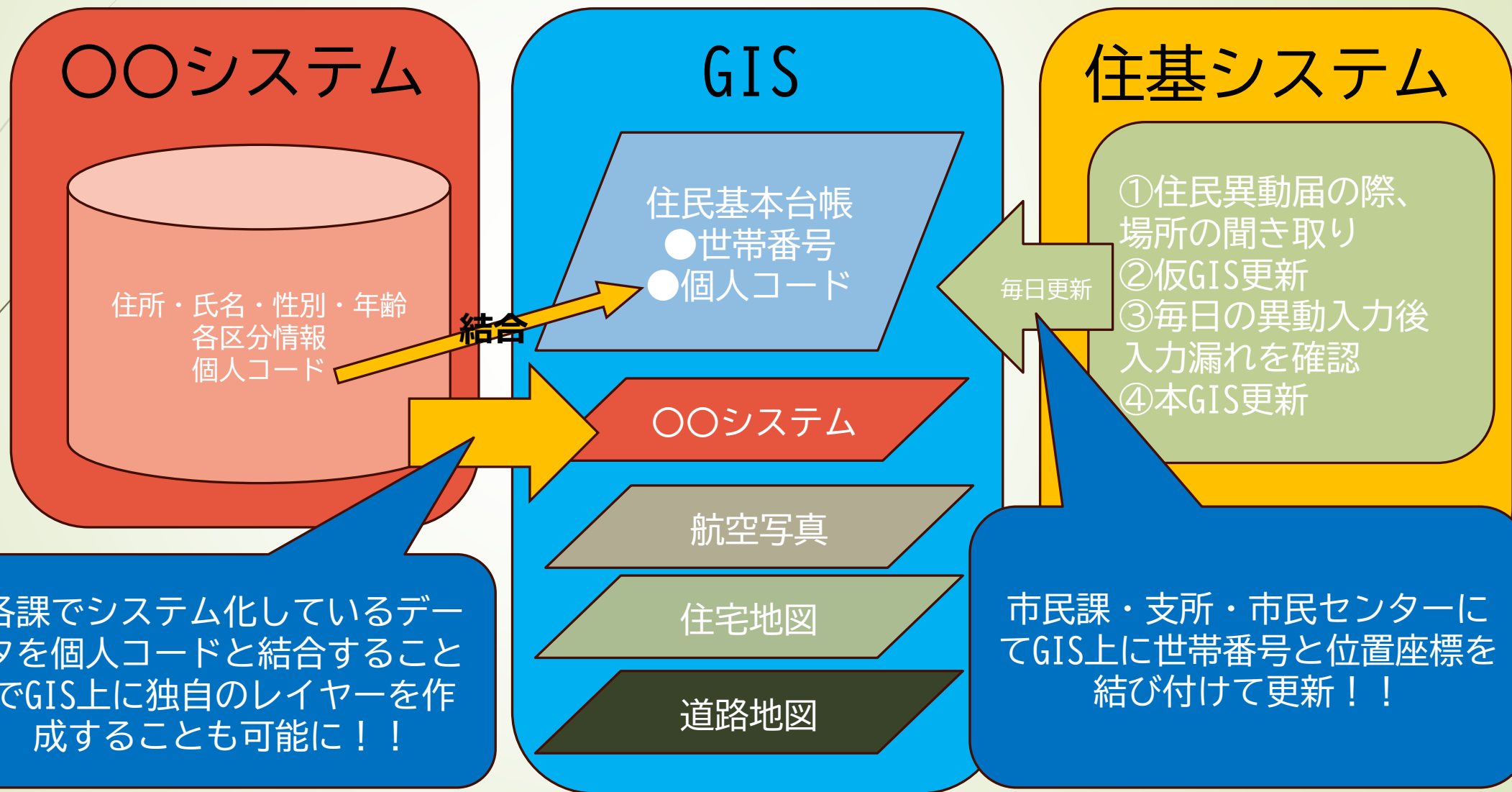
国（総務省）の補助制度を活用



H25. 3. 11～「統合GIS」稼動スタート



住民ポイントの連携





18

事例紹介

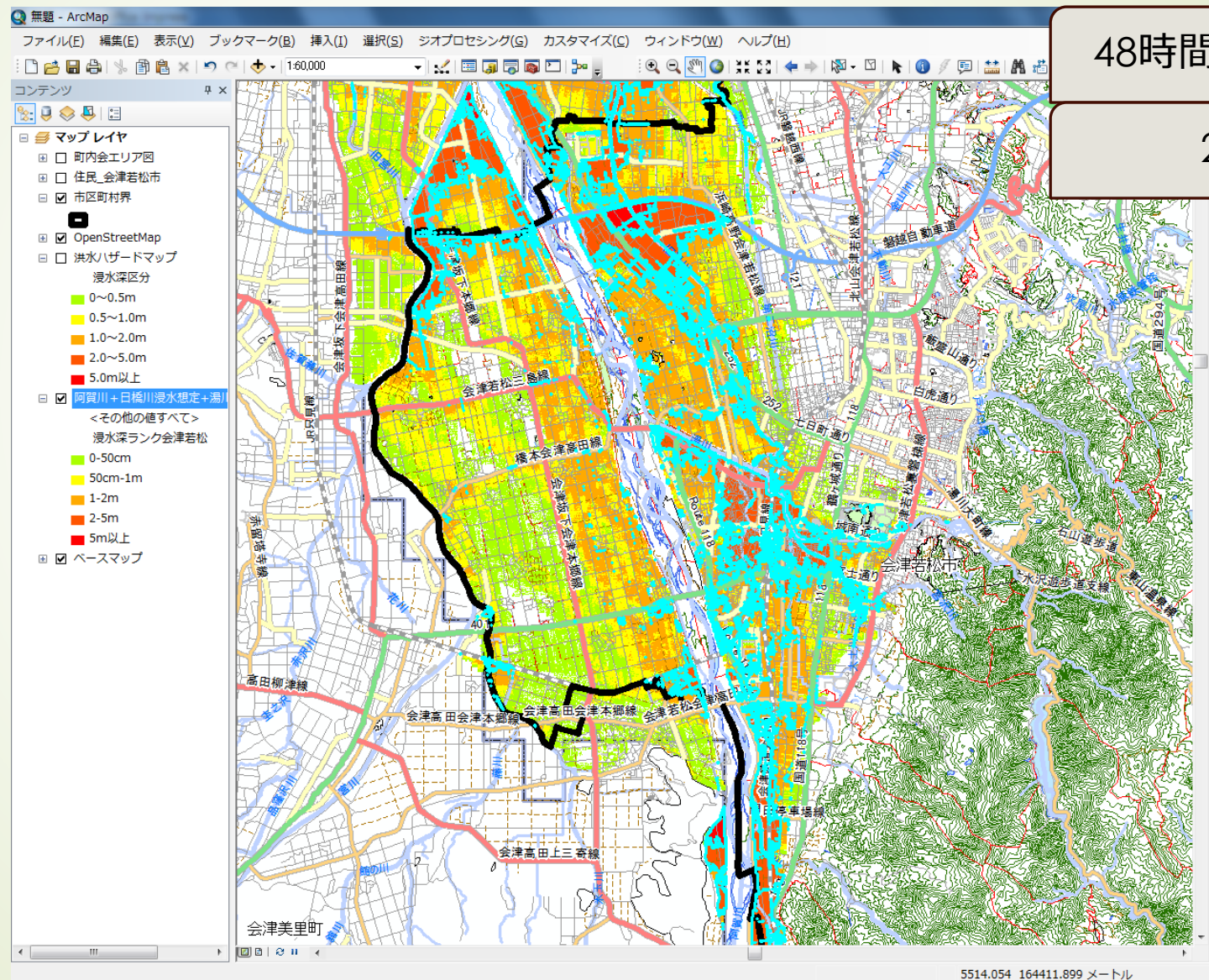




浸水想定区域の想定最大規模雨量への対応

48時間総雨量533mm

2.0m以上





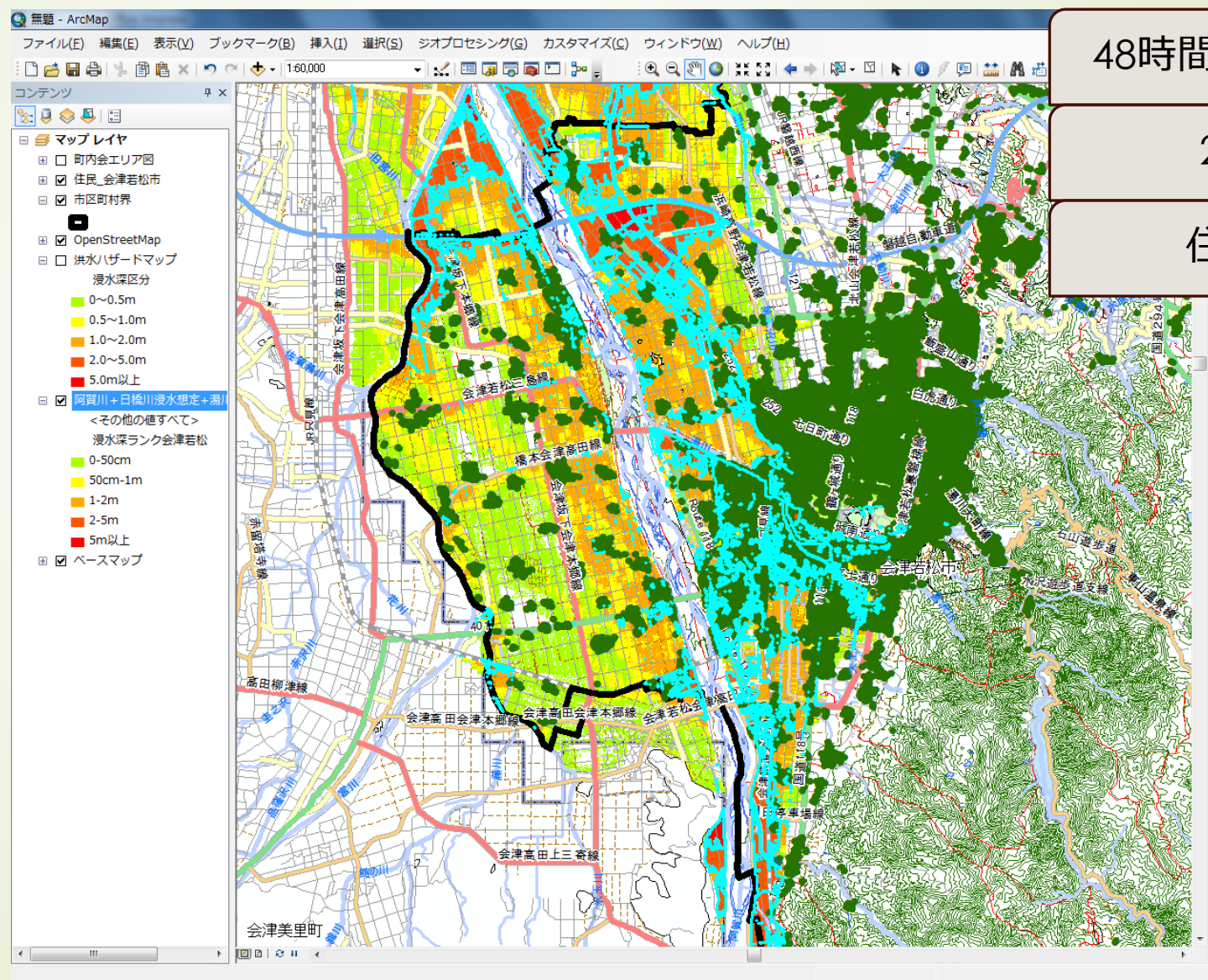
20

浸水想定区域の想定最大規模雨量への対応

48時間総雨量533mm

2.0m以上

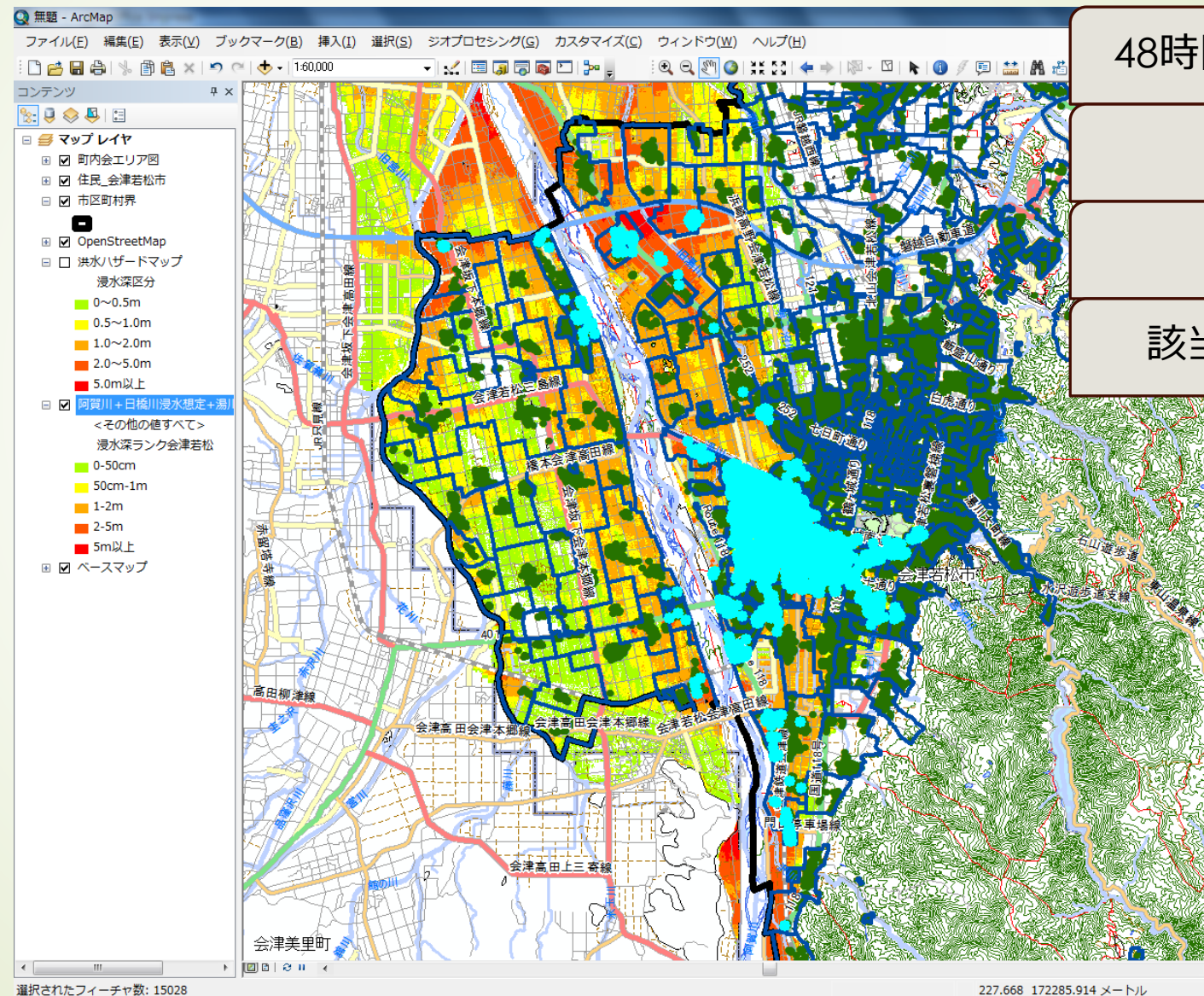
住民データ





21

浸水想定区域の想定最大規模雨量への対応



48時間総雨量533mm

2.0m以上

住民データ

該当者：15,028人



浸水想定区域の想定最大規模雨量への対応

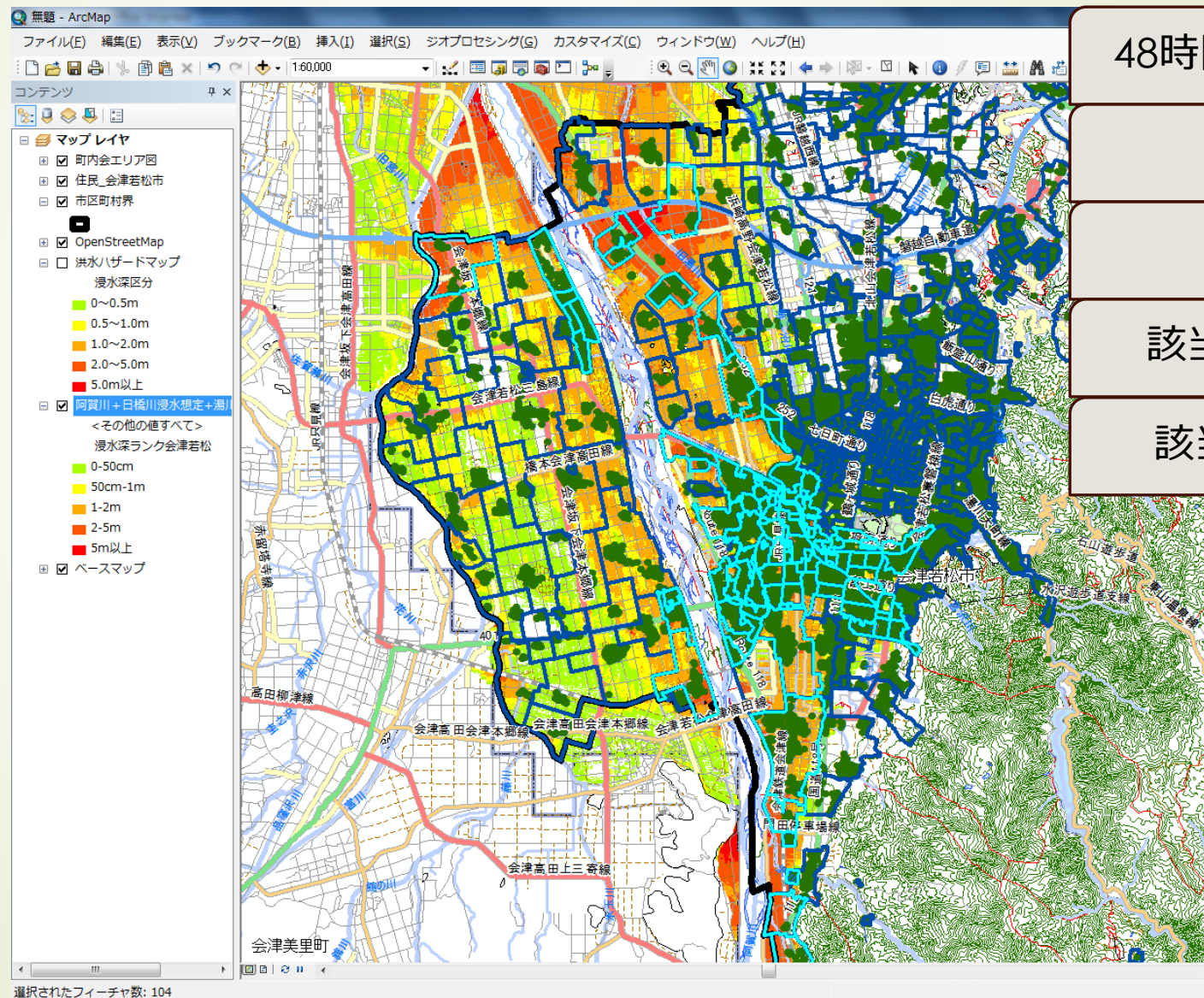
48時間総雨量533mm

2.0m以上

住民データ

該当者：15,028人

該当町内会：104





10年間のメッシュ別年齢3区分人口増減

- 一辺250mの正方形の網(メッシュ)の中に、年齢3区分(0～14、15～64、65歳以上)別に何人いるかを表した「年齢3区分人口メッシュ」について、2024年9月時点と2014年9月時点の差を求め、10年間の増減を可視化した。

(例)

右図の橙色の四角は、2014年から2024年の10年間で1～50人増加していることを表している。

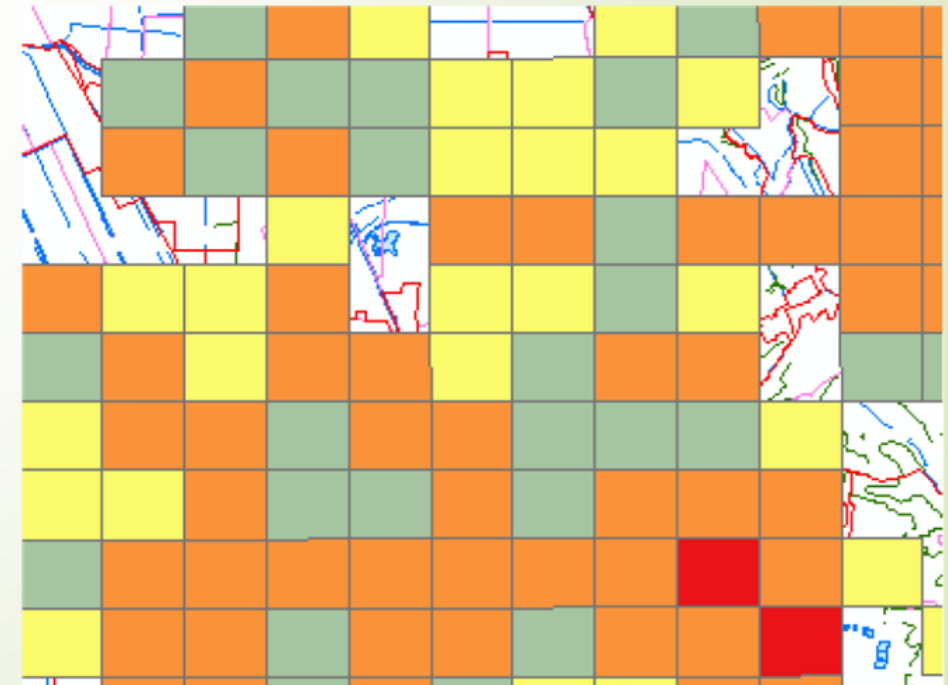
■ -85 - -100

■ -99 - -1

■ 0

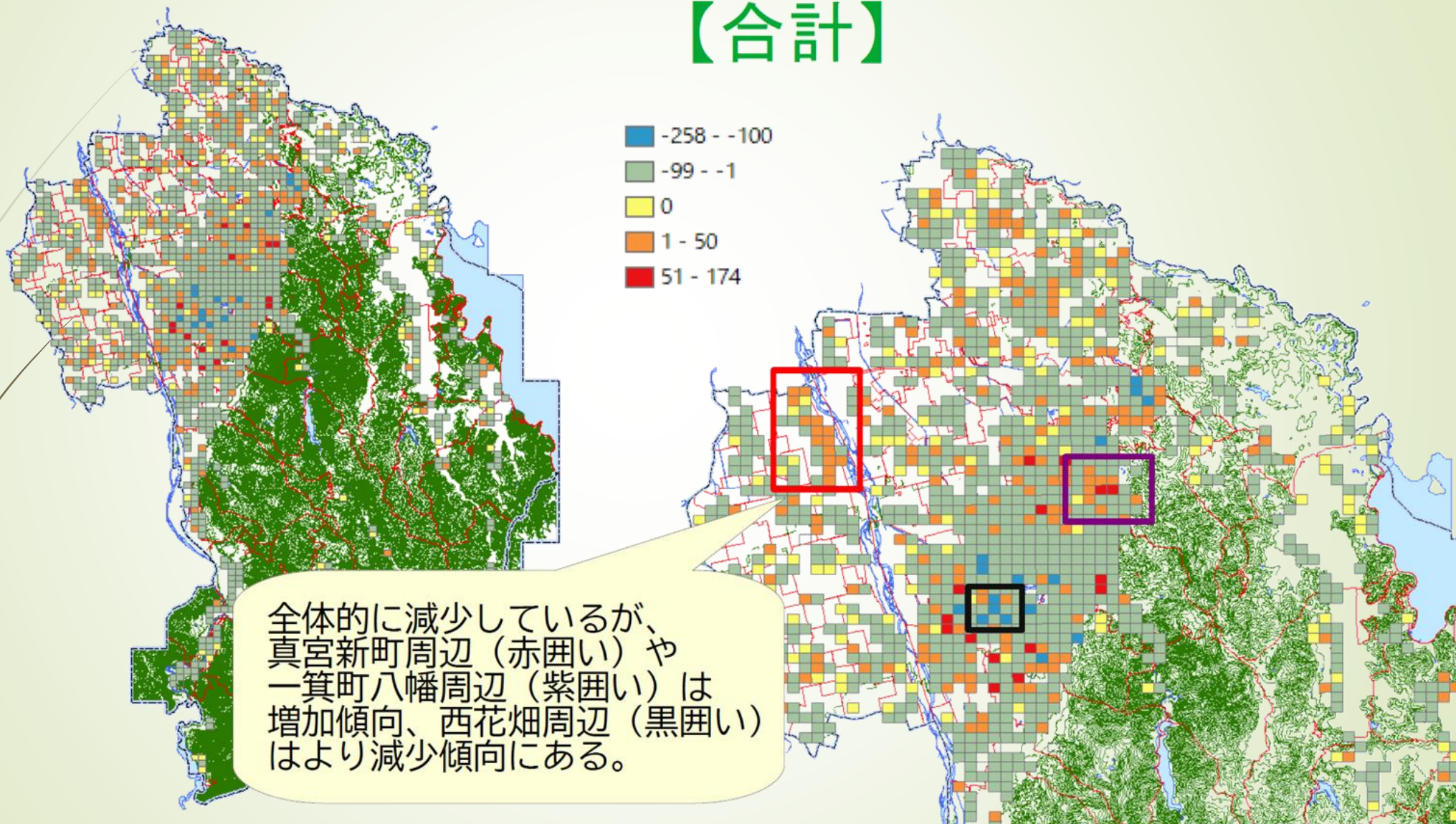
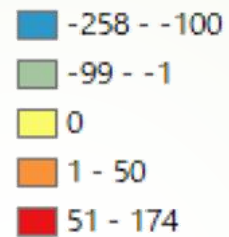
■ 1 - 50

■ 51 - 89





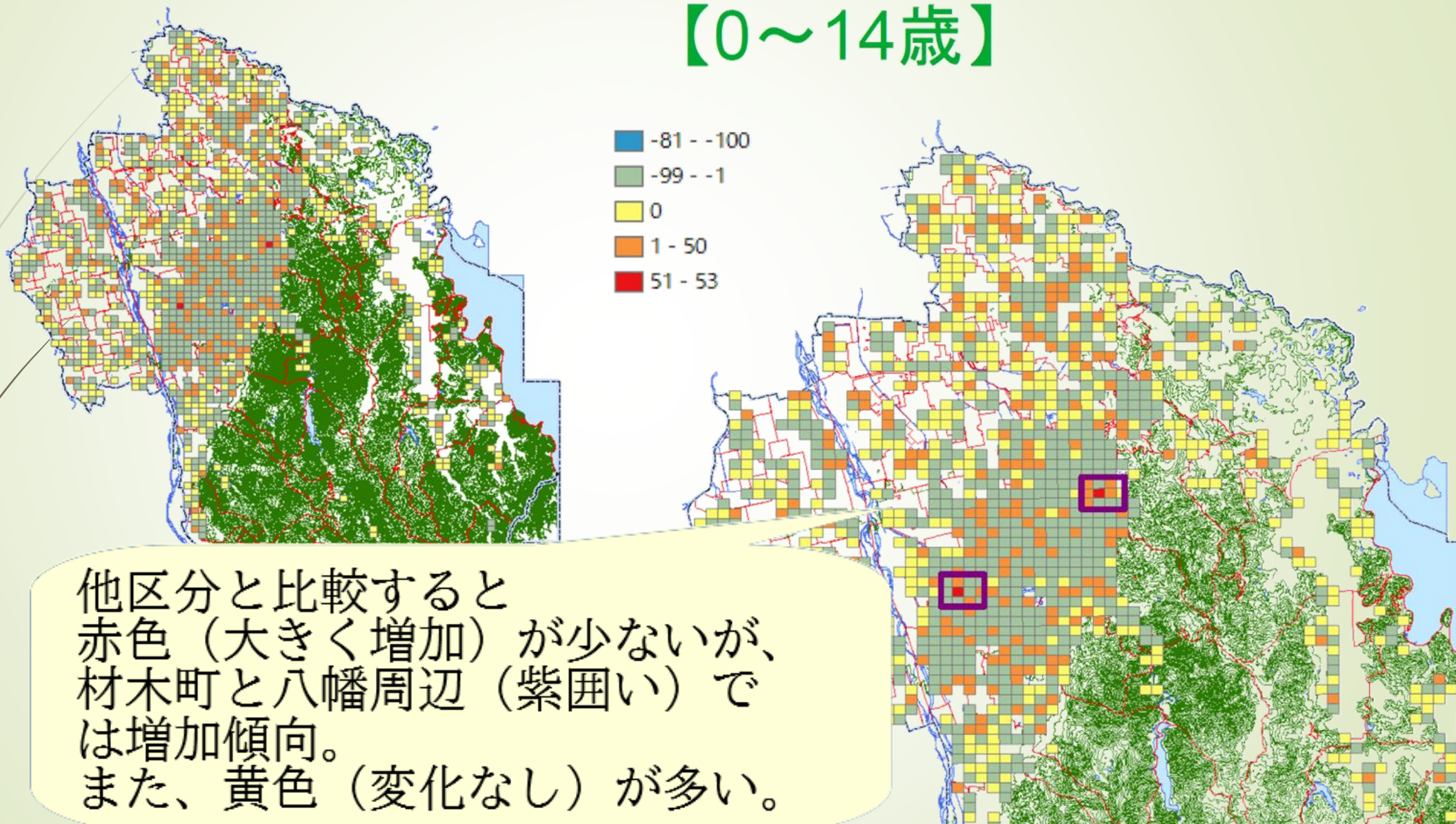
【合計】



全体的に減少しているが、
真宮新町周辺（赤囲い）や
一箕町八幡周辺（紫囲い）は
増加傾向、西花畑周辺（黒囲い）
はより減少傾向にある。

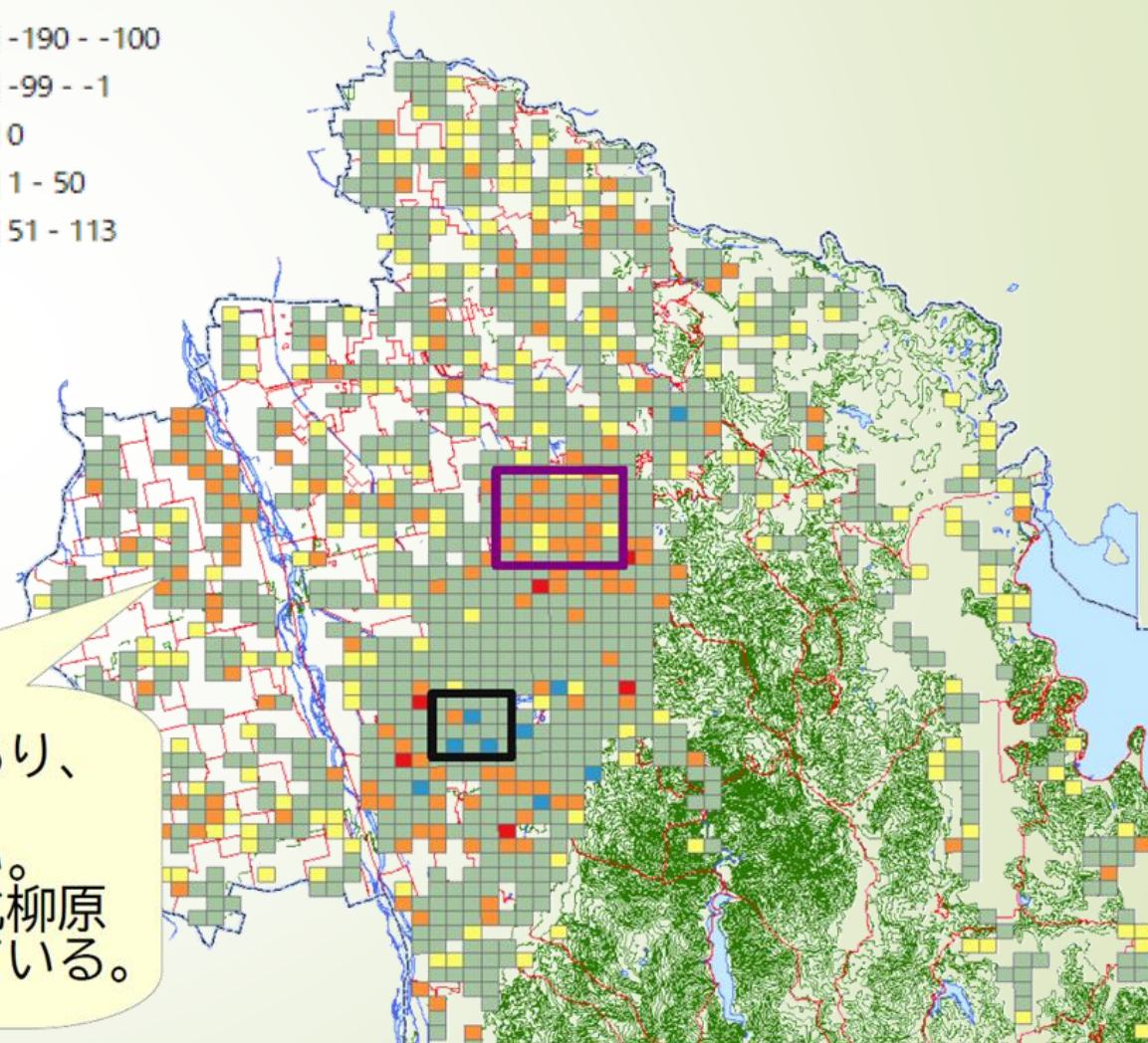
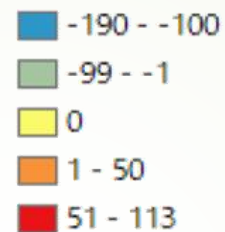
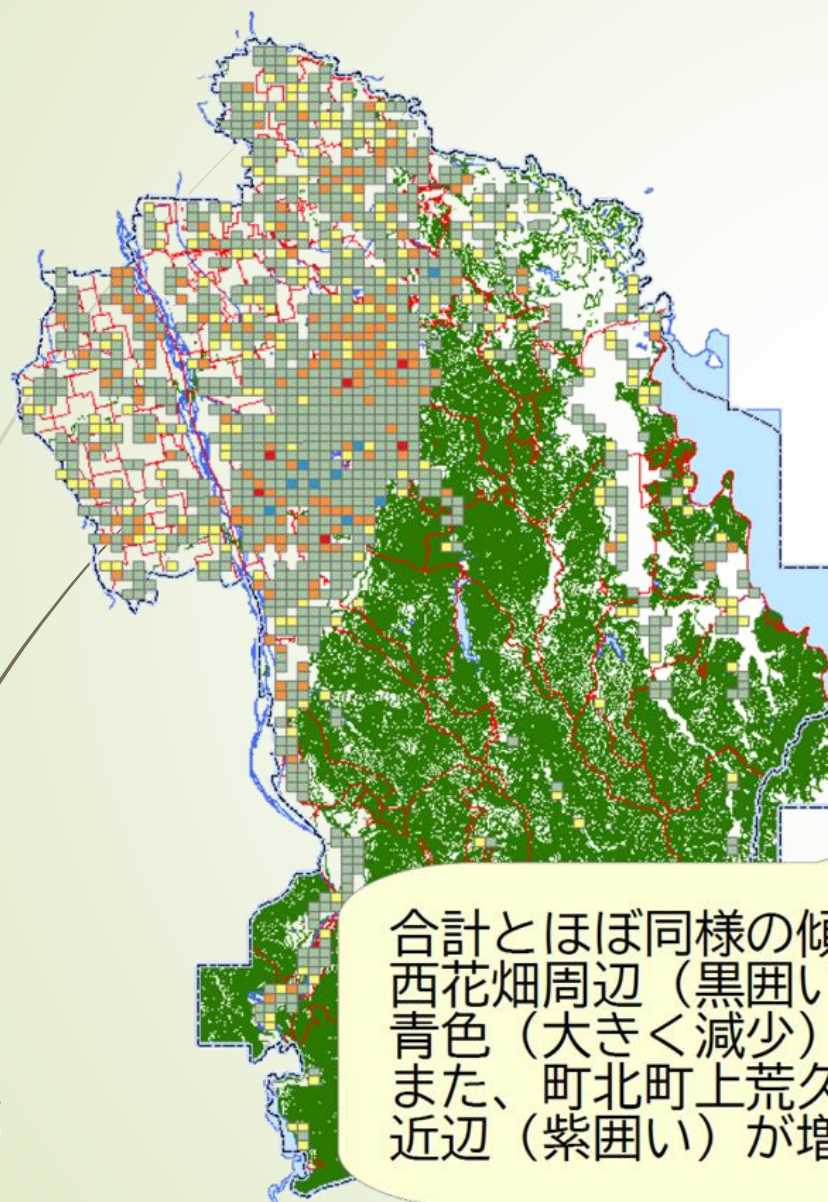


【0～14歳】



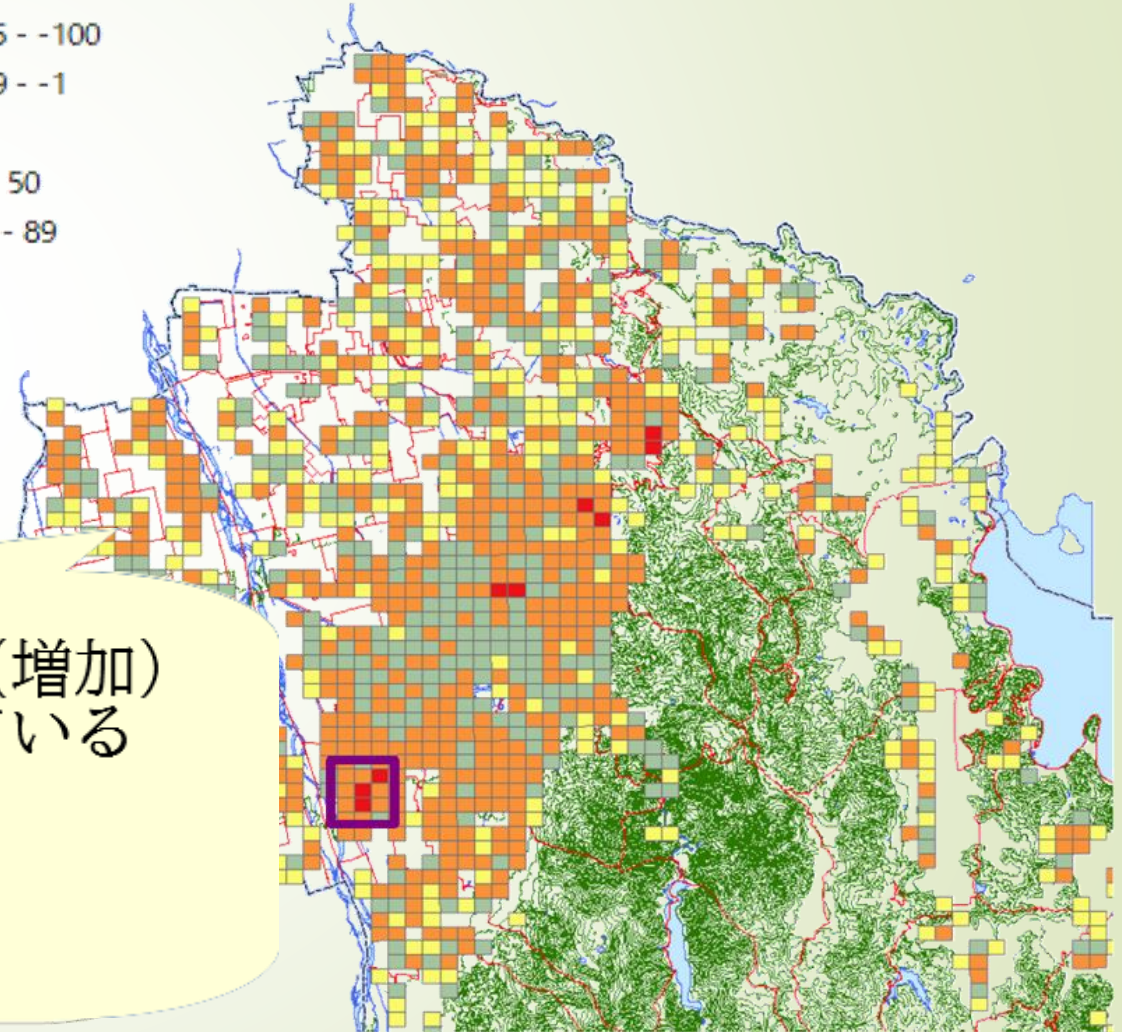


【15～64歳】



合計とほぼ同様の傾向であり、
西花畑周辺（黒囲い）は
青色（大きく減少）が多い。
また、町北町上荒久田や北柳原
近辺（紫囲い）が増加している。

-85 - -100
 -99 - -1
 0
 1 - 50
 51 - 89





28

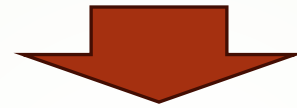
庁内での取り組み



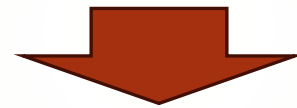


統合GIS活用検討チーム結成

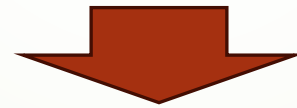
GISが限られている人しか操作できない（導入当初）



庁内での普及活動（仲間づくり）が重要！！



横断的な組織立ち上げの必要性



「統合GIS活用検討チーム」発足（平成25年度～ 今年度13年目）

**統合GIS活用検討チームにて
各職場の課題を解決！！**



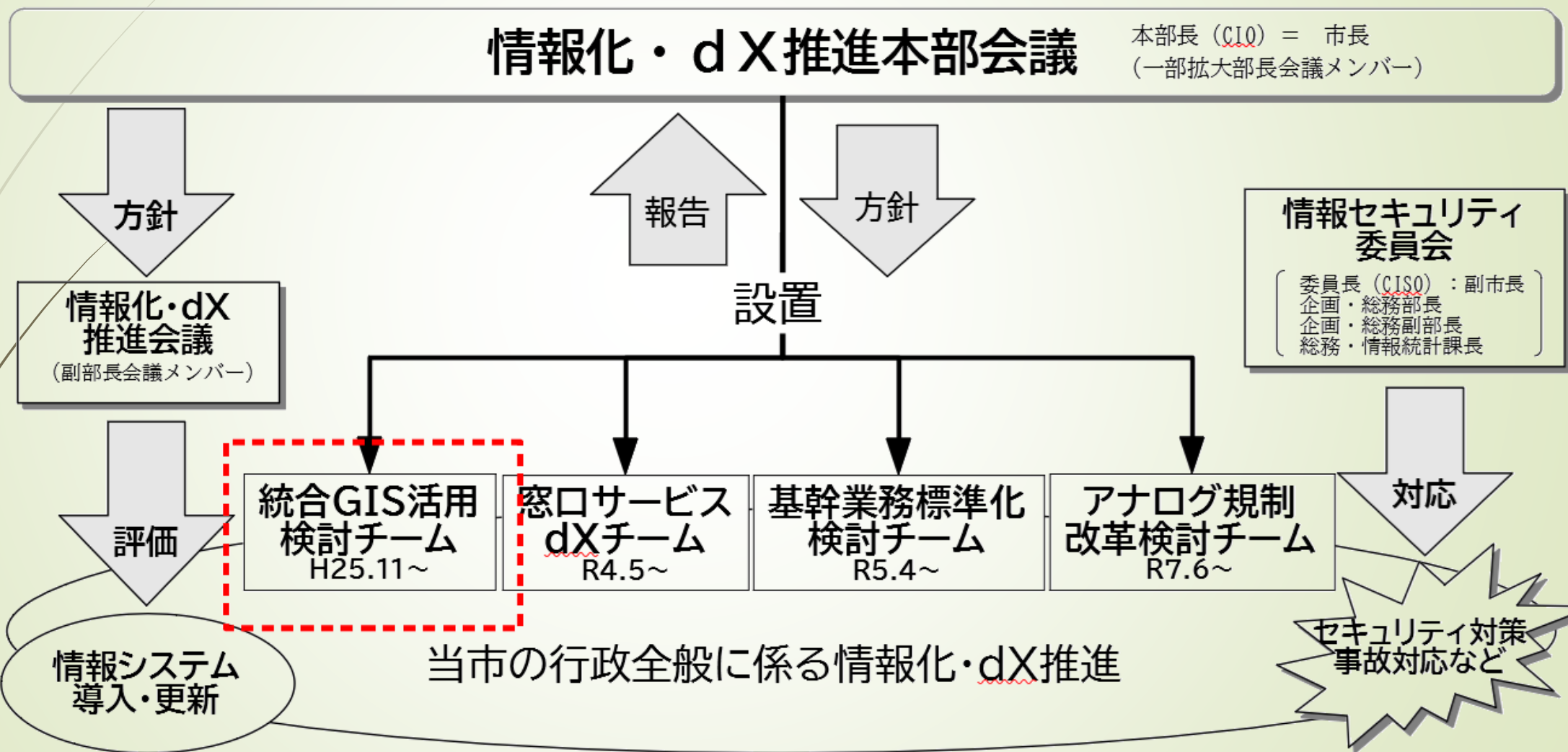
検討チームの目的

- ➡ GISで業務を改善&革新！！
 - ➡ 各職場での課題を共有し、検討チームで解決できるようにアシスト！
 - ➡ GISの庁内普及
 - ➡ GIS操作研修会の開催
 - ➡ 慣れると誰でも使いこなすことができる！
 - ➡ 今までできなかった分析を自分でできるようになる！
 - ➡ 地図で見ると楽しい・分かりやすい！





会津若松市令和7年度検討チーム体制図





業務上の位置づけ

< 情報化推進計画の構成図 >

会津若松市第7次総合計画

下位計画として位置付け

情報化推進計画

基本方針

アクションプラン

事務事業

資料編

福島県の情報化施策

連携

国の情報化施策

連携

取り組みの基本となる9つの観点

< 情報化推進計画の取組イメージ >





検討チームでの取り組み事例

- 埋蔵文化財包蔵地の公開用GISでの公開
 - 埋蔵文化財包蔵地(土地に埋蔵されている文化財)を会津若松市公開用GISで公開(R7年4月～)

クイックリンク

- 相談窓口一覧
- 申請書ダウンロード
- 会津若松市例規集
- 放射線情報

オンラインサービス

- ゆびナビぶらす
- あいべあ
- ペコミン
- 公共施設予約
- ごみカレンダー
- 地図サイト (GIS)
- メール配信サービス
- 道路や側溝蓋等の破損を報告する

新着情報

- 令和6年度ユニバーサルデザイン(2024年04月18日)
- 健康教室in北会津アスリートPRC
- 院内御廟で「春の落ち葉掃き大作戦」(17日)
- 会津若松市個人番号の利用及び特正(案)へのご意見をお寄せください
- SNSを通じた投資詐欺にご注意を
- ご家庭で米粉を使った料理をしましょう
- 第29回市民との意見交換会を開催(2024年04月15日)
- 市長等週間日程表を公開しています
- テレビデータ放送で市政情報を発信(12日)
- リサイクルコーナー展示品一覧



ホーム ギャラリー マップ シーン グループ 検索 サインイン

会津若松市公開用GIS

01. ハザードマップ

02. 防災

03. 生活

04. 観光

05. 都市計画

06. 埋蔵文化財包蔵地

会津若松市オープンデータサイト

会津若松市レポート



検討チームでの取り組み事例

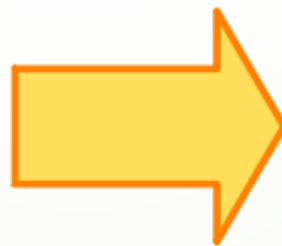
- 埋蔵文化財包蔵地とは・・・
 - 土地に埋蔵されている文化財(主に遺跡といわれる場所)のこと
 - 埋蔵文化財の存在が知られている土地(周知の埋蔵文化財包蔵地)は全国で46万か所あり、毎年9千件程度の発掘調査が行われている。

**会津若松市内は全516か所
(令和7年3月時点)**



検討チームでの取り組み事例

- 埋蔵文化財包蔵地の公開用GISでの公開





検討チームでの取り組み事例

公開用GISでの公開によるメリット

・照会者が、文化課に直接照会し、照会所と地図を持参、送付

不要

照会者と市職員
両方にメリットがある

・職員が、その地図をもとに、地図、包蔵地台帳で位置を確認し、照会地が包蔵地の範囲内を確認

不要



検討チームでの取り組み事例

- みんなでつくる防災マップの取り組み
 - 災害時に危険を伴う箇所や平時から気を付けておいたほうがいい場所を市民の方と共有するワークショップを開催。

日時

2/6 木

18:00 - 19:30

自主防災組織、
防災士、市役所、
AiCTコンソ防災WG

みんなで作る
防災マップ
ワークショップ

実証実験のねらい

- ・“地域の人なら知っている”“私だけが知っている”避難時に避けて通った方が良い場所をみんなで情報共有することで、災害時にスムーズに避難等の対応が出来るようにする。
- ・特に、避難に支援を要する人（車イスを利用している方、歩行に支えが必要な方など）や、その人を支援する人や団体・事業者が災害時にスムーズに避難等の対応が出来るようになることを目指す。

ワークショップのねらい

- ①実際に投稿する体験をしていただく⇒投稿フォームの使い勝手や難易度について議論
- ②投稿されたデータのマップ見る⇒投稿の分類は妥当だったか、表示の仕方は良いかなどについて議論。
- ③マップの活用イメージを議論⇒防災・災害時の活用、それ以外での活用について議論



検討チームでの取り組み事例

- みんなでつくる防災マップの取り組み
 - 災害時の現場の様子



写真だと災害の状況が
分かりやすい



検討チームでの取り組み事例

- みんなでつくる防災マップの取り組み
 - 平時から気を付けておいたほうがいい場所の現場の状況



写真だと危険な場所の状況が分かりやすい



検討チームでの取り組み事例



状況の選択項目については、【平時】と【災害時】に分けて、事務局で議論をしながら整理

市職員や防災士、自主防災組織関係者などに事前の投稿を依頼
ワークショップ前に
約60箇所投稿される

要支援者災害時回避場所調査

回避した方が良い場所の状況*

避難に支援を要する人（車イスを利用している方、杖を利用している方、歩行に支えが必要な方など）が、災害が発生した時の避難所・避難場所までの避難において、回避した方が良い箇所について、以下に留意し選択してください。

【平時】災害が起こっていない状態でも避けた方が良い場所

【災害時】豪雨や地震が起こった場合に過去に溢水や土砂崩れ等があった、または起こる恐れがある場所



【平時】道幅が狭い



【平時】階段でしか通れない



【平時】急な傾斜がある、大きい段差がある



【平時】砂利道等で通りにくい



【平時】ぬかるみやすい



【平時】木の枝や置物など障害物がある



【平時】近くに崖など落ちそうな



【平時】冬は滑りやすい



【災害時】豪雨時に冠水したことがある（恐れがある）



【災害時】豪雨時や地震時に土砂崩れしたことがある（恐れがある）



【災害時】地震時に塀や壁、建物などが崩れたことがある（恐れがある）



検討チームでの取り組み事例

▶ みんなでつくる防災マップの取り組み



要支援者が災害時に回避すべき場所_公開用

ズーム 画面移動

回避した方が良い場所の状況	【災害時】豪雨時に冠水したことがある（恐れがある）
回避した方が良い場所の補足説明	豪雨時などは水量が増える。水路に流されると、道路下の救出不可能な水路に流されてしまうため、大変危険
投稿日時	2025/1/24 15:51



Earthstar Geographics | GSI, Esri, TomTom, Garmin, Foursquare, GeoTechnologies, Inc, MET

マップ マップの凡例 パイチャート

投稿マップ^o

実証参加者のみ限定



カメラでこのQRコード読み取る

お手元の端末、
又はご自身の
端末で確認
できます！



さいごに、

- ➡ 会津若松市役所では、
 - ➡ 住民基本台帳の位置情報を活用することで、行政サービスにおける課題解決のツールになっている！
 - ➡ 庁内横断チームで楽しみながら、職員自らがデータ分析し、課題解決しようとする文化を醸成している！